叡
適B

適性検査B

（10：35～11：20）

注　　意

1　検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。

2　問題用紙の1ページから2ページに，問題が1から2まであります。

これとは別に解答用紙が1枚あります。

3　問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。

4　答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第　　番

1 次の文章は，獣医師の田向健一さんが書いた「生き物と向き合う仕事」の一部です。これを読んで，あとの問いに答えなさい。

道具のことに限らず、手術でも診察でも「ちょっとした違和感」があったとき、僕はその気持ちを大事にするようにしている。手術で「こういう角度でやっていて、どうもやりにくい」というとき、「やりにくい」と思いながら続けるのではなく、少し角度を変えて見てみたり、道具の持ち方を変えてみたりしてやりやすい方法はないかと工夫する。

当たり前と言えば当たり前なのだが、自分のやり方や既存のものに慣れてしまうと、「やりにくいな」と思っても、その状況をなかなか変えることができない。これは、子どもが体を斜めにしたまま字を書いて、「うまく書けない」と言うのに似ている。体を少し起こしてみれば、ずっと書きやすくなる。でも斜めに書く習慣がついてしまっていると、そのことに気づけない。だから、うまくいかないことに違和感を覚えて、自分を変えてゆくというような気持ちが大事だと思う。

なぜそう思うようになったか考えてみると、僕は小さいときから動物をたくさん飼っていた。動物を飼うという趣味の世界は、学校の勉強とは全然違う。教育の過程にいるとたくさん覚えるべきことがあり、それらをちゃんと学んでいけば、一つの答えに行きつく。でも、飼育書もないような珍しい動物を飼う方法は誰もその答えを知らない。だから自分の頭でいろいろ考えなければならない。中でも、大好きでいろいろなカエルを飼っていたとき、それらのカエルをどうしたら生かせるのか、さまざまな方法を考案した。

たとえば、フクラガエルというアフリカの小さなカエルがいる。カエルと言えば湿らせて飼うのが常識なので、普通のカエルを飼うように湿らせたミズゴケで飼っていたら、一週間ほどで死んでしまった。なんで死んでしまったのだろうといろいろ調べてみると、フクラガエルはアフリカの乾燥したところに棲んでいるということがわかった。そこでホームセンターに行き、アフリカにありそうな土を選んで買ってきて、その土を湿らせずに乾燥したままの状態にしてカエルを入れた。するとそのカエルはずっと生き続けた。初めて日本に輸入されたときはそんな情報はなかったのだ。

それは日本で初めて、フクラガエルの長期飼育に成功した例だと思う。その頃僕は大学四年生で、爬虫類専門誌に飼育方法の記事を書いた。その後、このカエルは乾燥したパサパサの土で飼うことが「常識」となった。

多くの人は、既存のものの方がすばらしくて、自分の考えは劣っていると考えるかもしれない。でも、本当はそんなことはない。子どもが抱く疑問にも、じつはものすごいことを含んでいるときがある。たとえば、ダンゴムシはあるウイルスに感染すると紫色になることが知られているが、そのダンゴムシは健康な色のダンゴムシと比較して行動がおかしいことを、中学生が発見したこともあった。

大人になると、子どもの頃の発想や素朴な気持ちを忘れがちで、つい「常識」にとらわれてしまう。でもそういう素朴な気持ちを忘れない方がいい。そこにたくさんの発見があると、僕は思う。

（注）既存 ＝ 以前からあること。　爬虫類 ＝ カメ・ヘビ・ワニ・トカゲなどのなかまの動物。

（問い）

あなたは，この文章を通して，筆者が伝えたいことは何だと考えますか。また，筆者の伝えたいことに対して，あなたはどのような考えをもちましたか。次の条件にしたがって書きなさい。

（条件）

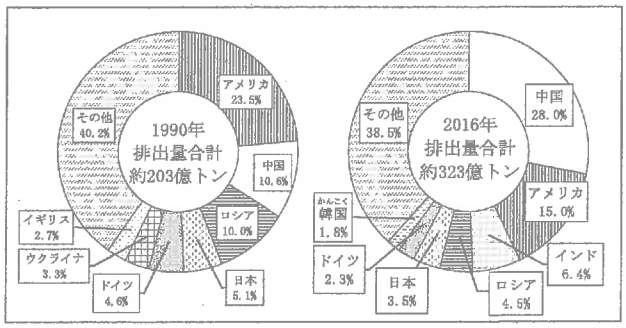
・この文章を通して，筆者の伝えたいことを書くこと。
・筆者の伝えたいことに対する自分の考えについて，これまでの経験をふり返り，具体例をあげながら書くこと。
・300 字以上 400 字以内にまとめて書くこと。

2 華さんのクラスでは社会科の授業で，「持続可能な社会」をテーマに，「未来にわたって，より多くの人々が豊かな生活を送るためにはどうすればよいか」について学習しています。そして華さんは学習発表会に向けて，「持続可能な社会」というテーマの中でも，特に環境問題について調べることとし，次の資料１～４を集めてきました。また，さまざまな発電方法の特徴を資料５のように整理しました。そしてこれらの資料を使い，将来の社会に向けての取り組みを提案することにしました。

あなたが華さんなら，「持続可能な社会」の実現に向けて，どのような課題があると考え，どのような解決策を提案しますか。資料１～５の中から，複数の資料を関連付けながら活用し，文章で書きなさい。

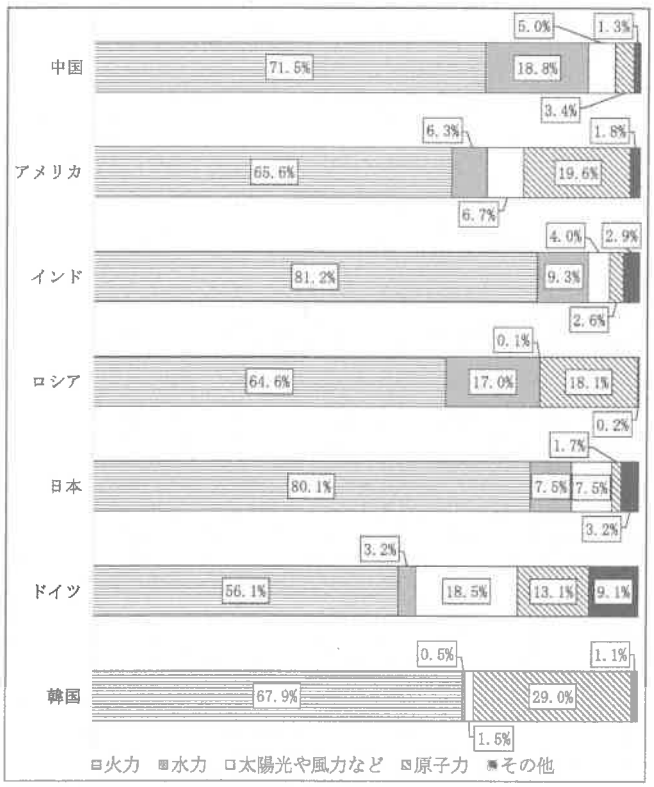
なお，解答用紙の所定の欄に，あなたが選んだ資料の番号を書くこと。

資料１【世界の二酸化炭素排出量にしめる二酸化炭素排出量の多い国（上位７カ国）の変化】



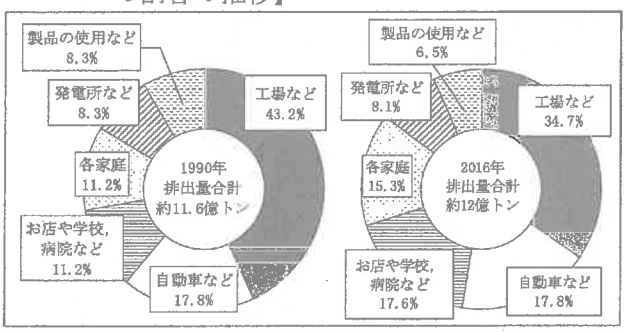
（「エネルギー・経済統計要覧」をもとに作成。）

資料２【二酸化炭素排出量が多い国の発電方法別発電量の割合（2016年）】



（「エネルギー・経済統計要覧」をもとに作成。）

資料３【日本国内における部門別二酸化炭素排出量の割合の推移】



（国立環境研究所のデータをもとに作成。）

資料４【環境問題で重要だと考えること（日本国内におけるアンケートの結果）】

○日本が，世界に向けて，環境の面から積極的に貢献したり，関与したりすること	○大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めること
	○環境に配慮した製品やサービスを選ぶこと
○地域で協力して環境の保全活動に取り組むこと	○一人一人が環境に配慮した行動をとること

（環境省「環境にやさしいライフスタイル実態調査報告書」をもとに作成。）

資料５【さまざまな発電方法の特徴】

	火力	水力	太陽光	風力	原子力
発電の時の二酸化炭素	たくさん出る	出ない	出ない	出ない	出ない
発電量	発電量を調節しやすい	発電量が雨の量などに左右される	発電量が天候に左右される	発電量が風の状態に左右される	少ない燃料で大きな電力が得られる
その他の特徴	水力や原子力と比べて，施設を建設しやすい	ダムを建設するときに，環境への影響が大きい	住宅の屋根や学校の屋上などでも発電できる	施設から出る音の被害を防ぐため，住宅地から離れた場所に施設を建設する必要がある	事故が起きたときの被害が大きい